

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-1	美濃手すき和紙支援事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	古田 貴紀
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	114 美濃手すき和紙後継者の育成・支援（113 和紙産業の振興と新商品の開発支援）		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR（旧：和紙産業の振興）		

2. 事務事業の目的	美濃手すき和紙産業振興及び伝承するために美濃手すき和紙製造技術等の保存及び後継者の育成を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	美濃手すき和紙製造技術等の習得に意欲を有する者、習得後和紙製造業に従事する者、美濃手すき和紙協同組合が推薦するものに月額5万円の奨励金制度がありますが平成30年度は対象者なし。手すき和紙後継者育成は美濃手すき和紙協同組合が後継者の販路拡大を目的に行う東京での展示会に助成を行いました。また平成29年度より美濃手すき和紙協同組合に対し、原料購入資金の貸付事業を開始しました。その他、美濃手すき和紙協同組合の活動に357,000円の補助金を交付しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	1,574,215	1,938,074	1,766,203	4,557,000	
② 人件費	3,600,000	3,600,000	3,375,000	3,375,000	
③ 合計コスト ①+②	5,174,215	5,538,074	5,141,203	7,932,000	
前年度比 (%)		107.0%	92.8%	154.3%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	74,000	1,455,600	1,355,203	4,200,000
	一般財源	5,100,215	4,082,474	3,786,000	3,732,000
④ 活動一単位当たりコスト	—	—	—	—	
前年度比 (%)		—	—	—	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	令和元年度は美濃手すき和紙原料購入資金貸付事業2,500千円を盛り込んでいるためコスト増になる。				

(3) 活動指標	指標名	奨励金支給対象者数				単位:	人
	指標説明	美濃手すき和紙後継者を育成することにより和紙産業振興を図ります。					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	0	0	0	0		

(4) 成果指標	指標名	需要開拓に関する事業				単位:	件	評価:	+
	指標説明	和紙スクール5日間コースと1か月コースの参加者数							
	目標値の設定方針	実績の105%							
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込				
	目標値	16	13	6	6				
	実績値	12	5	5					
達成度 (%)	75.0%	38.5%	83.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
高齢化に伴い、特長ある技術を受け継ぐ後継者の確保を更に進める必要があります。しかし、後継者の育成に当たっては、志を持つ希望者と指導者の思いが一致しないと伝統を守り、継承していくことに問題が生じます。後継者育成と販路拡大・新製品開発を別々に考えるのではなく、美濃市として総合的に支援していくことへの見直しが必要であります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
和紙の里会館のショップに品目を増やし、会館のホームページだけではなく、facebook等のSNSを利用し、広く売店と製品のPRをインターネット上で行うことで需要を拡大させ、後継者を育成します。東京での展示会など、市内外で行われる展示に助成していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
和紙職人志望者の技術の伝承と、経営の安定の両立は難しいが、各展示会への出品を積極的に行い、発信力を強化することで需要を喚起し、両立を図ります。また職人志望者を受け入れる体制の整備が急務である。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-2	美濃和紙の里会館運営事業	担当課	美濃和紙推進課（美濃和紙の里会館）
			作成者	清山 健
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	116 和紙の里の整備		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	美濃和紙文化の発展に貢献するため、美濃和紙の里会館の適正な管理運営を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	和紙の里会館業務委託（受付・売店・体験等）、体験関係経費、和紙スクール経費、売店関係経費、和紙の里会館施設管理経費を合わせて、美濃和紙の里会館運営業務とし、会館の適正運営を図りました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	43,926,717	52,229,669	47,539,070	47,968,000
② 人件費	5,200,000	5,200,000	4,875,000	4,875,000
③ 合計コスト ①+②	49,126,717	57,429,669	52,414,070	52,843,000
前年度比 (%)		116.9%	91.3%	100.8%
財源内訳	国・県支出金	0	200,000	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	49,126,717	57,229,669	52,414,070
④ 活動一単位当たりコスト	176,081.4	193,365.9	169,077.6	170,461.3
前年度比 (%)		109.8%	87.4%	100.8%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	美濃和紙の里会館の年間開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	279	297	310	310	

(4) 成果指標	指標名	入館者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙の里会館の年間入館者数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	56,223	44,026	41,266	38,271			
	実績値	41,930	39,301	36,448				
達成度 (%)	74.6%	89.3%	88.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>本美濃紙のユネスコ無形文化遺産登録を契機に入館者が増加しましたが、平成27年度をピークに平成28年度からは減少に転じました。ユネスコ無形文化遺産登録の好影響は徐々に薄れる傾向にあります。一方、紙すき体験者数は順調に伸び続けており、関心の高さがうかがえます。秋季の行楽シーズンは毎年予約が多い状況ですが、冬季の閑散期は来館者が少なく対策が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>小学校の社会見学での利用が多いことから、学校に対するPR活動を一層強化するため、旅行社や担任の先生と綿密に打ち合わせ、予約確認表の送付、打合せ表の学校との共有、終了後の礼状発送を行っています。また、できるだけ多く受け入れできるように、スケジュールの調整にも力を入れます。また入館の際に滞在時間を有効に使えるサービス（無料体験、100円でのうちわの骨販売、工作情報等）を提供し、顧客満足度を向上させています。また、新規顧客を獲得するため、観光関係の商談会等でのPRに努めています。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>和紙の産地である美濃市の中核施設として当館は内外に象徴的な施設であり、適切な運営は欠かせません。平成30年度は、老朽化した各施設を12件改修し、入館者が快適に過ごせる環境整備を行いました。今後も施設の適切な維持管理を積極的に行い、館内環境を整えます。開館から25年が経ち、施設は老朽化してきているため、今後も施設管理等にコストがかかります。支出と収入のバランスを考えながら、運営していく必要があります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-18	美濃手すき和紙の家施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	松並 恵美
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	116 和紙の里の整備		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	伝統的な紙屋の保存・公開と、本美濃紙の技術を魅せる施設の整備
------------	--------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	美濃手すき和紙の家旧古田行三郎の一般公開を行い、地元の紙すき経験の有る人たちを中心として組織された団体「漉き娘の会」の会員により、施設を訪れた観光客等には、美濃和紙文化や手すき和紙の道具の説明等案内を実施しました。 また、紙すき工房の貸出しを行ない、来場者に職人による紙すき等の様子も見学して頂くことができました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	1,554,135	603,363	640,738	505,000
② 人件費	4,560,000	3,040,000	2,850,000	2,850,000
③ 合計コスト ①+②	6,114,135	3,643,363	3,490,738	3,355,000
前年度比 (%)		59.6%	95.8%	96.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	6,114,135	3,643,363	3,490,738
④ 活動一単位当たりコスト	77,394.1	39,601.8	37,534.8	34,234.7
前年度比 (%)		51.2%	94.8%	91.2%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成29年度以降は維持管理費のみとなり、コストが減少しました。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎の年間開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	79	92	93	98	

(4) 成果指標	指標名	入館者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎の年間入館者数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	1,500	1,500	631	646			
	実績値	952	601	616				
達成度 (%)	63.5%	40.1%	97.6%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
施設を訪れた観光客等には、「漉き娘の会」会員による美濃和紙の文化等の案内を実施すると共に、工房を貸し出し職人が実際に行っている紙すきの作業を見学していただく事ができました。ただし、工房の使用期間が短いため、工房の利用者や利用期間、運営方法等の検討が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
一般公開にあたり、年間を通じての紙すき工房の利用者を募り、施設を訪れた人に紙すきの作業を見学していただくと共に、職人から作業の説明等を行って頂くよう協議してまいります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
伝統的な紙屋であり美濃市内で唯一、一般公開をしています。美濃和紙の里会館の近くに位置し、相乗効果が期待できます。入館者増加に向けて、美濃和紙の里会館と相互連携を図るとともにホームページなどで積極的にPRをします。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-8	美濃和紙あかりアート館施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	122 美濃和紙のPRの推進		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階：ショップ 美濃市内の業者が創作した美濃和紙のあかり作品を展示・販売。商品の売上管理。（平成30年総売上 789,600円） ・ 2階：美濃和紙あかりアートミュージアム 毎年10月に美濃市で行われるあかりアート展の入賞作品を展示。入館者の管理。（平成30年度入館者合計 19,763人） ・ 建物管理 入館・販売・清掃等の管理をアルバイト職員2名（半年契約）で対応

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	3,485,971	3,488,663	3,482,629	4,045,000
② 人件費	1,920,000	1,440,000	1,350,000	1,350,000
③ 合計コスト ①+②	5,405,971	4,928,663	4,832,629	5,395,000
前年度比 (%)		91.2%	98.1%	111.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	5,405,971	4,928,663	4,832,629
④ 活動一単位当たりコスト	17,495.1	16,266.2	15,639.6	17,459.5
前年度比 (%)		93.0%	96.1%	111.6%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	美濃和紙あかりアート館の年間開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	309	303	309	309	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙あかりアート館2階ミュージアムへ入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	24,965	23,149	21,055	20,751		
	実績値	22,047	20,052	19,763			
達成度 (%)	88.3%	86.6%	93.9%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No	A		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>インバウンドの取組みにより外国人観光客の入館者数が増加しています。また、館内の案内表示を多言語化することで、外国人観光客向けに改善しました。 売店売上高は前年に引き続き減少したため、観光消費額増加のためにも売上高増加が課題です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>入館者数を増やすために、各地での観光PRを行います。また、入館者数を増加させることにより、売店の販売数を伸ばし、売上高増加につなげます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>うだつの上がる町並みの中にあり、観光案内拠点としてなくてはならない施設であるため、定期的な点検等を行い現状維持に努めます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-12	美濃和紙の里会館企画展事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	須田 亜紀
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	3伝統産業
	総合計画上の施策名	122 美濃和紙のPRの推進		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	様々な企画展を開催し、美濃和紙の里から和紙文化の情報発信、紙業の発展に貢献します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	年間9回の企画展を開催しました。 ①2018全国和紙画家選抜展 4月1日～4月16日、②こじやるWONDERLANDペーパーアート作品展 4月19日～6月11日、③大滝文庫に見る和紙の世界 6月14日～7月9日、④ホンモノそっくり？ペーパークラフトの世界 7月12日～9月3日、⑤ユネスコ和紙展vol.2 9月6日～10月22日、⑥2018公募第31回全国和紙画展 10月25日～12月17日、⑦「紙のそら」秋山信茂展 12月20日～1月28日、⑧トイレトペーパー芯リサイクルアート展 1月31日～3月11日 ⑨2019全国和紙画家選抜展 3月14日～3月31日

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	59,962,466	16,942,858	14,978,228	14,189,000	
② 人件費	8,400,000	8,400,000	7,875,000	7,875,000	
③ 合計コスト ①+②	68,362,466	25,342,858	22,853,228	22,064,000	
前年度比 (%)		37.1%	90.2%	96.5%	
財源内訳	国・県支出金	22,100,000	1,500,000	480,000	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	46,262,466	23,842,858	22,373,228	22,064,000
④ 活動一単位当たりコスト	7,595,829.6	3,620,408.3	2,539,247.6	2,451,555.6	
前年度比 (%)		47.7%	70.1%	96.5%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成28年度はリニューアル工事により事業費が増加し、平成30年度は前年の単年度事業「展示資料制作委託事業」がないため、コストが減少しました。				

(3) 活動指標	指標名	企画展開催回数				単位:	回
	指標説明						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	9	7	9	9		

(4) 成果指標	指標名	入館者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度比105%							
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込				
	目標値	56,223	44,027	41,266	38,271				
	実績値	41,930	39,301	36,448					
達成度 (%)	74.6%	89.3%	88.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題
 平成30年度は、外国人観光客の増加を見込んで、2階常設展示室の解説に英訳文を設置することで見学しやすい環境を整え誘客の一助としました。また30年度は3,500冊の和紙関係の図書が寄付され、美濃和紙の里会館のひとつの魅力になりました。これを公開し、発信しました。また、公募全国和紙画展は応募作品が減少しました。新しい作家の発掘が必要です。年間を通じて、入館者数はユネスコ無形文化遺産登録により急増した27年をピークに減少していますが、冬季は特に閑散期になる傾向があります。年間を通じて、新しい魅力ある展示と、集客を見込める内容の企画展の開催、紙すき体験のメニューの更なる充実が急務と考えられます。

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和元年8月
公募全国和紙画展は作家の意欲を高め、応募作品の増加を狙い、「準入選」のランクをを新設しました。また、新たにインターネットの公募サイトを利用し、幅広いアプローチを実施します。企画展の内容は、夏休みや秋季に合わせた魅力ある展示内容とするとともに、発信し集客します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
展示内容は来館者のニーズをよく読みとって考えなければなりません。魅力ある企画展を見学していただくためには、発信力が必要です。旅行社等と積極的な情報交換を推進していきます。今後は国内はもとより、また外国人観光客の誘致にも力を入れていきます。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-19	本美濃紙継承事業	担当課	美濃和紙の里会館
			作成者	清山 健
施策体系	行政分野	④教育・文化	施策分類	4文化財
	総合計画上の施策名	61 本美濃紙の伝承		
	施策名（評価単位）	(25) 和紙産業の振興とPR		

2. 事務事業の目的	国指定重要無形文化財「本美濃紙」を次世代へ継承するため、製作技術の保存及び伝承者の養成を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	「本美濃紙」の保持団体である「本美濃紙保存会」が行う技術保存、伝承者養成事業への補助。保存会の事業総額5,280,000円のうち、国庫補助額5,000,000円への追加的補助220,000円。美濃市補助金等交付規則第4条。27年度から導入された文化遺産伝承補助金6,000,000円は岐阜県文化財保護費補助金の助成を受けた補助制度です。これにより啓発事業、研修事業が拡充しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
① 直接事業費	6,220,000	8,668,392	7,420,000	8,620,000	
② 人件費	1,680,000	3,360,000	3,150,000	3,150,000	
③ 合計コスト ①+②	7,900,000	12,028,392	10,570,000	11,770,000	
前年度比 (%)		152.3%	87.9%	111.4%	
財源内訳	国・県支出金	3,000,000	3,150,000	3,000,000	3,000,000
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,900,000	8,878,392	7,570,000	8,770,000
④ 活動一単位当たりコスト	658,333.3	925,260.9	813,076.9	980,833.3	
前年度比 (%)		140.5%	87.9%	120.6%	
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	本美濃紙職人育成事業 H30年度実績1,200,000円、R元年度見込2,400,000円。				

(3) 活動指標	指標名	研修生				単位:	人
	指標説明	育成する技術伝承者の数（23年度から関連技術伝承者を含む）					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	12	13	13	12		

(4) 成果指標	指標名	新規会員数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	研修生から新規に正規会員に加入した人数（23年度から関連技術伝承者を含む）							
	目標値の設定方針	1名以上							
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込				
	目標値	1	1	1	1				
	実績値	0	0	0					
達成度 (%)	0.0%	0.0%	0.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>研修事業は堅調に進められており、研修生の習熟度は確実にアップしていますが、人材の育成には中長期的な展望が必要です。事業の内容は全工程に及ぶ研修会の開催など、研修生に有益であるよう心がけました。研修内容は毎年高度なものへと移行しています。課題であった原料の楮不足については産地との情報交換を行い、少しずつ好転していますが、予断を許さない状況にあります。関連技術では桁製作の場所を確保しました、編み糸の製作場所には苦慮しています。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>若手職人の独立のため、新規工房への用具の貸し出し等で支援を行いました。研修事業は毎年内容を高度化して技術向上を図っています。楮不足は産地と連携し、楮加工職人の育成を充実させます。関連技術の製作場所の確保に積極的に支援を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>23年度加入の研修生は9年目となり、正規会員に近づいている者もいます。今後は、新たな研修生を迎える動きが必要です。また、本美濃紙保存会では関連技術の伝承に取り組んで成果を出し、原料問題についても茨城県大子町と協力して楮加工職人の確保に尽力し、全国有数の和紙産地としての存在感は年々増えています。今後も保存会の活動の支援を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-3	美濃市仁輪加連盟補助事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	117 文化・芸能・芸術を活かした観光事業の展開と後継者の育成		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	国の無形民俗文化財である美濃流し仁輪加の保存・継承を促進するとともに、観光PRと観光客誘致のために市仁輪加連盟を支援します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	美濃市の伝統芸能である美濃流し仁輪加の保存・継承を行っている美濃市仁輪加連盟に対する補助。 (実績) 委員会等開催数：7回 イベント等出演数：5回 コンクール観客動員数：1,000人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	46,000	46,000	46,000	46,000
② 人件費	1,360,000	1,360,000	1,275,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	1,406,000	1,406,000	1,321,000	1,321,000
前年度比 (%)		100.0%	94.0%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,406,000	1,406,000	1,321,000
④ 活動一単位当たりコスト	140,600.0	351,500.0	264,200.0	264,200.0
前年度比 (%)		250.0%	75.2%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成29年度以降はイベントの依頼が減少したため、コストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	イベント等出演数				単位:	回
	指標説明	美濃市仁輪加連盟に依頼のあったイベント等への出演数					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	10	4	5	5		

(4) 成果指標	指標名	来場者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃まつりに行われる仁輪加コンクール会場への来場者数							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込				
	目標値	1,350	1,350	1,500	1,050				
	実績値	1,300	1,500	1,000					
達成度 (%)	96.3%	111.1%	66.7%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃市仁輪加連盟による美濃流し仁輪加の保存・継承が行われており、若者の参加が盛んになる町内が多くなっています。平成30年度も研修会を開催し、第38回地方の時代映像祭の市民・学生・自治体部門で優秀賞を受賞した中村儀朋さんの「爆笑・美濃流し仁輪加 ～世界遺産の町の男の美学～」を上演し、仁輪加のブラッシュアップを図りました。他方、仁輪加という文化継承（担い手）育成が課題です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
仁輪加の認知度向上のため、可能な限り出演依頼には応えていきます。出演依頼が平日の場合で、出演人数が集まらない場合でも、一口にわかなどで対応できるようにします。仁輪加継承のため、これまでのやり方にこだわらず、守るべきものは守り、新しい仁輪加の演じ方を模索します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	高橋 保雄
仁輪加は、美濃市の伝統芸能として欠くことのできないものであり、観光資源及び伝統継承の観点からも連盟の存続は必要です。近年はイベントへの出演依頼も増えており、多くの人により仁輪加のことを周知するためにも、可能な限り出演していくようにします。			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-4	小倉公園等維持管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	安全で快適に利用してもらえるよう維持・管理します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険木等伐採、剪定・草刈 ・トイレ管理 ・動物ふれあい広場の開設 ・桜祭り雪洞照明設置 ・小動物の管理、飼育 ・街路灯の修繕 ・遊具管理 ・嘱託職員2名による維持・管理

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	9,104,016	8,830,747	8,097,099	7,272,000
② 人件費	1,360,000	1,120,000	1,050,000	1,050,000
③ 合計コスト ①+②	10,464,016	9,950,747	9,147,099	8,322,000
前年度比 (%)		95.1%	91.9%	91.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	10,464,016	9,950,747	9,147,099
④ 活動一単位当たりコスト	25,837.1	23,977.7	21,124.9	18,913.6
前年度比 (%)		92.8%	88.1%	89.5%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	嘱託職員業務実施日数			単位:	日
	指標説明	嘱託職員2人の1年間の勤務日数(年間215日勤務×2人)				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	405	415	433	440	

(4) 成果指標	指標名	入園者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	小倉公園を訪れた地域住民・観光客等の利用者数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	32,629	25,736	20,831	20,172		
	実績値	24,510	19,839	19,211			
達成度 (%)	75.1%	77.1%	92.2%				

4. 妥当性評価 (「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。)					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業(サービス)との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業(サービス)との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要があるか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>危険木を伐採して、利用者の安全に配慮しました。 動物ふれあい広場を開設し、利用者の増加を促しました。 景観重要樹木の保育・管理及び保全に努める必要があります。 遊具が老朽化してきました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>小倉公園のイベントとして、ふれあい動物園実施を継続し、入園者を増やすようにしていきます。 危険木、枯渇木の伐採等の景観整備により、景観重要樹木を保全していきます。 他の都市公園の整備にあわせ、計画的に遊具の更新を実施します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>小倉公園は市民の憩いの場、交流の場として広く利用されています。公園の他にも近隣にはない小動物園が併設されており、地元の人々のみならず観光客も多く訪れています。老木が多いため、危険木や枯渇木の伐採を行い、景観重要樹木を保全し、また、老朽化した遊具を更新するなど、市民や観光客の憩いの場として安全・快適に利用できるように維持・管理をしていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-5	町並みギャラリー維持管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設の充実を目指し、施設の歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> 和紙ちぎり絵同好会と和紙手芸同好会に作品展示と施設清掃を委託しました。(平成30年度委託料 614,000円/年) 施設の維持・管理を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	1,236,723	1,080,104	1,117,524	916,000
② 人件費	320,000	320,000	300,000	300,000
③ 合計コスト ①+②	1,556,723	1,400,104	1,417,524	1,216,000
前年度比 (%)		89.9%	101.2%	85.8%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,556,723	1,400,104	1,417,524
④ 活動一単位当たりコスト	5,120.8	4,575.5	4,632.4	7,600.0
前年度比 (%)		89.4%	101.2%	164.1%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	奇数月担当の「美濃和紙手芸クラブ」が、令和元年度から参加しなくなったため、開館日数が減少したことによりコストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	町並みギャラリー山田家住宅の年間会館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	304	306	306	160	

(4) 成果指標	指標名	入館者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	町並みギャラリー山田家住宅を訪れた観光客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	11,671	10,150	9,660	8,764			
	実績値	9,666	9,200	8,347				
達成度 (%)	82.8%	90.6%	86.4%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>和紙を使った作品展示の施設として、観光客に積極的に観光PRを実施しました。また、観覧だけでなく体験コーナーを設け、入口看板、ホームページなどでPRしながら集客向上を図っています。</p> <p>当館は他の観光施設のような知名度が無く、集客力が弱い。運営も高齢の団体に委託しており、新たな展示内容を企画することが難しくなっています。</p> <p>現に2団体のうちの美濃和紙手芸クラブは高齢化を理由に脱退されました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>旧今井家住宅・美濃史料館や美濃和紙あかりアート館、観光協会が付近にあるため、他施設から山田家住宅への誘導を図ります。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	高橋 保雄
<p>町並みにある古い建物として、維持していく必要があります。</p> <p>ギャラリーとして観光客のニーズにあった展示ができる仕組みを検討する必要があり、また、運営方法について指定管理者制度も視野に入れた新たな方法を検討し、さらに、ギャラリーとしてではなく、住民が自由に利用できる文化施設など活用方法を検討します。</p>			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-6	旧名鉄美濃駅施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営に関する業務を美濃市観光協会に委託 平成30年度の年間施設利用者数は、7,000人（平成29年度：7,000人） 平成30年度の年間施設開放日数は、308日

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	605,000	739,630	1,598,600	934,000
② 人件費	880,000	800,000	750,000	750,000
③ 合計コスト ①+②	1,485,000	1,539,630	2,348,600	1,684,000
前年度比 (%)		103.7%	152.5%	71.7%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,485,000	1,539,630	2,348,600
④ 活動一単位当たりコスト	4,821.4	5,031.5	7,675.2	5,467.5
前年度比 (%)		104.4%	152.5%	71.2%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度には展示車両の塗装修繕を実施したため、事業費が増額となりました。			

(3) 活動指標	指標名	施設開放日数			単位:	日
	指標説明	旧名鉄美濃駅の年間施設開放日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	308	306	306	308	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	旧名鉄美濃駅へ入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	7,875	7,350	7,350	7,350		
	実績値	7,000	7,000	7,000			
達成度 (%)	88.9%	95.2%	95.2%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要があるか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>藤棚の剪定を行い、景観維持に努めました。 駅のホームのひび割れ等駅舎の老朽化が進んでおり、将来改修を行うに当たって旧名鉄美濃駅保存会の意見を徹しました。 美濃市の主要観光地であるうだつの上がる町並みより少し離れているため、入館者数の増加に向け旧名鉄美濃駅の知名度を向上させる必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>雑誌等取材の依頼には積極的に対応し、メディアへの露出を増やすことによって知名度の向上を図ります。 関係者による保存検討会を開催します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性		所属長氏名	高橋 保雄
<p>車両を展示し当時の状態を再現していますが、電車の展示がメインとなっているため、電車好きの来訪者が中心となっています。駅舎の文化財としての価値を維持しつつも、一般の観光客にも訪れてもらえるよう、メディア等の取材については積極的に対応し、知名度の向上につなげます。</p>			
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-7	旧今井家住宅施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設充実を目指して、施設を歴史的風致を維持した運営・管理を行います。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやマスコミを利用した観光客の誘客活動を行いました。 ・施設修繕、庭木の剪定を行いました。 ・平成30年度の年間開館日数は、342日でした。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	6,894,738	6,432,831	6,624,674	6,823,000
② 人件費	1,680,000	1,600,000	1,500,000	1,500,000
③ 合計コスト ①+②	8,574,738	8,032,831	8,124,674	8,323,000
前年度比 (%)		93.7%	101.1%	102.4%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	8,574,738	8,032,831	8,124,674
④ 活動一単位当たりコスト	25,369.0	23,907.2	23,756.4	24,479.4
前年度比 (%)		94.2%	99.4%	103.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位:	日
	指標説明	旧今井家住宅・美濃史料館の年間開館日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	338	336	342	340	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	旧今井家住宅・美濃史料館へ入館した観光客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	30,232	25,570	23,791	22,001		
	実績値	24,352	22,658	20,953			
達成度 (%)	80.6%	88.6%	88.1%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>庭木の剪定を行い、景観保全を行いました。 美濃史料館を改修し、展示品を入れ替え、2階も見学できるようにしました。また、トイレを洋式化して観光客へのサービス向上を図りました。 建物が古いため、老朽化している箇所が多く随時の修繕、また耐震強化が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>庭木については、業者による年1回の剪定を実施しますが、雑草・落葉などの処理については、施設職員が実施します。 建物を維持管理していくため、計画的に施設修繕を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>江戸時代から続く紙問屋の内部を見学できる施設であり、文化財としての価値もある建物です。老朽化が進んでいますが、修繕等を適切に行い、景観が損なわれないように管理していきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-9	観光ふれあい広場維持管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	駐車場及びトイレを安全で快適に利用してもらえるよう維持・管理を行うとともに、イベント会場として利用を促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光トイレ（前野）の管理（清掃はシルバー人材センターに委託。） ・光熱水費の管理 ・観光バス専用駐車場使用料の管理 ・上段及び下段普通車駐車場環境協力金の管理 観光ふれあい広場及び観光トイレ維持管理費 需用費（消耗品費、光熱水費、修繕料） 603千円 委託料（トイレ清掃） 836千円 役員費（電話料） 69千円 賃借料 197千円

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	1,973,502	1,749,200	1,701,990	2,147,000
② 人件費	2,080,000	1,760,000	1,650,000	1,650,000
③ 合計コスト ①+②	4,053,502	3,509,200	3,351,990	3,797,000
前年度比 (%)		86.6%	95.5%	113.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,053,502	3,509,200	3,351,990
④ 活動一単位当たりコスト	16,889.6	14,621.7	13,966.6	15,820.8
前年度比 (%)		86.6%	95.5%	113.3%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	トイレ清掃日数			単位:	日
	指標説明	トイレ清掃委託による清掃日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	240	240	240	240	

(4) 成果指標	指標名	駐車場利用台数			単位:	台	評価:	+
	指標説明	観光駐車場（バス）利用台数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	1,082	1,045	860	697			
	実績値	995	819	664				
達成度 (%)	92.0%	78.4%	77.2%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
観光客（旅行会社）に駐車場を積極的に案内しました。観光バス専用駐車場使用料は、1,276千円の収入（前年度：1,582千円）があり、観光ふれあい広場普通車駐車場の環境協力金は651千円の収入がありました。（前年度：687千円） 観光トイレ（前野）は、夏場は川遊びに来る観光客が増加し、ゴミをトイレ周辺に放置する人が増えることから対策が必要であり、冬場は給水管が凍結し破裂することがあるので注意が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
旧美濃町中心街の駐車車両を観光ふれあい広場駐車場へ誘導し、駐車禁止区域での違法駐車や迷惑駐車等の解消を図ります。 観光バスの駐車場に関する問合せがあったときは、観光ふれあい広場を案内し広場の利用促進を行います。 観光トイレは、夏場に利用客数が多くなるため、冬場は清掃回数を少なくし、夏場は毎日清掃するようにします。 また、冬場になると給水管が凍結し破裂する恐れがあることから、配管の凍結防止を行う必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
観光ふれあい広場については、今後も市民の憩いと集いの場及び観光客と市民の交流の場として、安全で快適に利用してもらえるよう引き続き維持・管理を行っていく必要があります。また、観光トイレについても市民、観光客に快適に利用してもらえるように清掃等の管理を行います。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-10	美濃市観光案内所施設管理事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総合計画上の施策名	118 観光拠点の整備と充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	観光客誘致及び観光施設の充実、市内を快適に観光してもらえるよう維持・管理し、サービス向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ管理 ・光熱費管理 ・1階：観光案内所兼売店(各種観光パンフレットを設置) ・2階：美濃市観光協会事務局

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	864,000	864,000	884,000	990,000
② 人件費	800,000	800,000	750,000	750,000
③ 合計コスト ①+②	1,664,000	1,664,000	1,634,000	1,740,000
前年度比 (%)		100.0%	98.2%	106.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,664,000	1,664,000	1,634,000
④ 活動一単位当たりコスト	4,674.2	4,635.1	4,551.5	4,846.8
前年度比 (%)		99.2%	98.2%	106.5%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	営業日数			単位:	日
	指標説明	観光案内所の営業日数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	356	359	359	359	

(4) 成果指標	指標名	観光案内所の来訪者数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	観光案内所に来た観光客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	55,935	51,761	38,609	34,476			
	実績値	49,296	36,770	32,834				
達成度 (%)	88.1%	71.0%	85.0%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>国内外を問わず、観光客に安心して立ち寄っていただけるような観光案内所として、1階の売店や2階の事務所等の維持・管理に努めました。建物の老朽化が進んでおり、一部雨漏りによる地下室浸水を防ぎました。引き続き、修繕や施設保全を図る必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>観光案内所として観光客に快適に利用していただくため、定期的に点検を行い適切な施設管理を行います。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>うだつの上がる町並みの中にあり、観光案内拠点としてなくてはならない施設であるため、定期的な点検等を行い現状維持に努めます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-11	観光PR・誘客推進事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	4観光
	総計画上の施策名	121	観光交流事業の推進（119 観光ルートの整備と充実、120 エコツーリズム・グリーンツーリズムの推進、102 水産業の振興と河川でのレクリエーションの促進）	
	施策名（評価単位）	(26)	観光交流の促進	

2. 事務事業の目的	市観光協会の支援と協働によりさまざまな媒体を活用しての観光PRと地域間交流の拡大と広域観光の推進により交流人口の拡大及び観光産業の振興を図り、国内誘客と新たな観光事業として海外誘客を促進します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・祭事委託費・奨励金(美濃まつり、大矢田もみじ谷)：2,225千円 ・平成30年観光客数 美濃まつり：40,000人 もみじ谷：46,000人 ・三館めぐり増刷(945千円) ・ふぁにぶろ、終極天書、各種新聞スポット広告掲載等(1,292千円) ・レンタサイクルのリース・保守点検の実施(229千円) ・地域間交流の拡大と広域観光の推進並びに国内外からの誘客に関する事業を行うための負担金(1,186千円)

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	18,295,754	23,770,602	34,706,684	27,974,000
② 人件費	2,560,000	4,400,000	4,125,000	4,125,000
③ 合計コスト ①+②	20,855,754	28,170,602	38,831,684	32,099,000
前年度比 (%)		135.1%	137.8%	82.7%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	20,855,754	28,170,602	38,831,684
④ 活動一単位当たりコスト	1,636.4	1,559.1	2,003.2	1,605.0
前年度比 (%)		95.3%	128.5%	80.1%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度には里川整備事業、世界に誇る遺産PR事業を実施したため、増額しました。			

(3) 活動指標	指標名	パンフレットの配布部数			単位:	枚
	指標説明	美濃市総合パンフレットの配布部数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	12,745	18,068	19,385	20,000	

(4) 成果指標	指標名	入り込み観光客数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	年間を通し当市を訪れた観光客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	1,300,516	1,301,028	1,240,022	1,240,022			
	実績値	1,239,074	1,180,973	1,107,508				
達成度 (%)	95.3%	90.8%	89.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総計上の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>長良川流域観光促進協議会において、本市を含んで周遊できる体験型観光商品の開発ができました。旅行会社と観光券の契約締結を拡大したことにより、本市へのツアー造成の機会が増え、入込み客を呼び込む基盤ができつつあります。越前美濃街道広域観光交流推進協議会で事業を行うことにより地域内の住民が互いの地域を訪問し、地域間相互の理解を深めることで交流人口の増加を図ることができました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
<p>新たな観光資源の開発、観光客の誘致の仕組みを作っても、それを有効に機能させるためには商談会や旅行会社訪問など継続的なセールス活動が重要です。越前美濃街道広域観光交流推進協議会や関市・美濃市・郡上市・長良川鉄道(株)観光宣伝協議会として名称のブランド化や広域観光のPRを商談会等を通して顔をつなぎ、会社訪問等積極的に進めます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
<p>市単独では観光資源が乏しいため、近隣市との連携は特に必要です。今後も他市又は近隣県の観光資源と美濃市の観光資源を結び、広域観光を進めていきます。観光協会の行うイベントで、美濃市の観光誘客を大に行います。また、市内業者を巻き込んだ商談会参加により都市部でのPR活動を積極的にいき、市と観光協会の役割分担を確認し、無駄を省く効果的な誘客活動を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-15	美濃和紙あかりアート展開催事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	5イベント
	総合計画上の施策名	123 新たなイベント文化の育成と既存イベントの文化の充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	美濃和紙あかりアート展の開催支援により、観光PR及び観光客増加を図るとともに、美濃和紙の振興及び保全・継承に寄与します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	美濃和紙あかりアート展を開催している美濃和紙あかりアート展実行委員会に対する事業費の補助 (実績) 委員会開催数：9回 作品出展数：337点 来場者数：80,000人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000
② 人件費	800,000	800,000	750,000	750,000
③ 合計コスト ①+②	7,300,000	7,300,000	7,250,000	7,250,000
前年度比 (%)		100.0%	99.3%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	7,300,000	7,300,000	7,250,000
④ 活動一単位当たりコスト	811,111.1	811,111.1	906,250.0	906,250.0
前年度比 (%)		100.0%	111.7%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	実行委員会開催数				単位:	回
	指標説明	実行委員会の年度内開催数					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	実績値	9	9	8	8		

(4) 成果指標	指標名	観客数		単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃和紙あかりアート展観客数					
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上					
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込		
	目標値	110,250	84,000	94,500	84,000		
	実績値	80,000	90,000	80,000			
達成度 (%)	72.6%	107.1%	84.7%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃市を代表する秋のイベントとして定着し、観光客の誘客に大いに貢献していますが、補助金に頼った運営からの早期脱却が今後の課題です。平成20年度からは駐車場利用協力金を徴収し、自主財源の確保を図っています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
自主財源確保のために会場内での企業広告の掲載など民間活力を利用しています。組織的なボランティアの強化等で適切な役割分担を図り、市民参加型のイベントとして事業への補助を行っています。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
美濃和紙あかりアート展は、美濃市の一大イベントとして全国に知られ、観客動員数も最も多いイベントになりました。市民ボランティアの協力を得ながら、引き続き開催をしていくことが必要です。 長年、継続しており運営が停滞気味であるため、今後も市民参加型のイベントとし確立するための検証を行うとともに、協賛等自主財源確保に努め、補助金額の精査を行います。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-16	美濃市花火大会補助事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	5イベント
	総合計画上の施策名	123 新たなイベント文化の育成と既存イベントの文化の充実		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	美濃市花火大会を支援することにより、郷土を大切に作る心を育むとともに、観光PRと観光誘客を進めます。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	真夏の長良川河畔で行われる美濃市の夏の風物詩である美濃市花火大会を開催している美濃市観光協会に対する事業費の補助 (実績) 委員会開催数：2回 花火打上げ数：1,000発 観客動員数：20,000人

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	923,539	1,236,000	1,236,000	1,236,000
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,125,000	1,125,000
③ 合計コスト ①+②	2,123,539	2,436,000	2,361,000	2,361,000
前年度比 (%)		114.7%	96.9%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,123,539	2,436,000	2,361,000
④ 活動一単位当たりコスト	—	2,436.0	2,361.0	2,361.0
前年度比 (%)		—	96.9%	100.0%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)				

(3) 活動指標	指標名	花火打上げ数			単位:	発
	指標説明	美濃市花火大会花火打上げ数				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	0	1,000	1,000	1,000	

(4) 成果指標	指標名	観客数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	美濃市花火大会観客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	18,900	18,900	21,000	21,000			
	実績値	0	20,000	20,000				
達成度 (%)	0.0%	105.8%	95.2%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
平成30年度は天候に恵まれ、花火大会を開催することができました。参加型の花火等を導入し観客の動員を図るなど、他の花火大会との差別化を行って誘客を図りました。現在の経済状況を反映し、協賛金や補助金の減少等により大会自体の規模縮小が避けられない状況であるため、今後、協賛金や補助金に頼らない開催資金の確立等が必要と考えられます。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
美濃の花火の独自性（山に囲まれて反響するため音が良いなど）をアピールし、他地域の花火大会との格差を図り、協賛金の増加に繋げていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
景気低迷から、協賛金の減により開催が危ぶまれることもありましたが、規模や関連イベントの見直しを行い継続しています。市民や観光客も参加できるように企画を変えていき、より多くの協賛金が得られるようにしていく必要があります。夏の風物詩として楽しみにしているイベントではありますが、協賛金額や運営方法を見ながら、今後の継続を検討します。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：平成 30 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	32-17	外国人誘客交流事業	担当課	美濃和紙推進課
			作成者	黒田 直快
施策体系	行政分野	⑧産業・観光	施策分類	5イベント
	総合計画上の施策名	124 国内外イベントの参加とPR		
	施策名（評価単位）	(26) 観光交流の促進		

2. 事務事業の目的	東海地区外国人観光客誘致促進協議会の支援による外国人観光客の誘客や交流促進を進めるとともに、海外との産業交流を目指して、外国との積極的な交流事業を展開します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(平成30年度)	海外メディアアテンドを実施しました。（ペルー、ブラジル、インドネシア、タイ、フィリピン、スペイン、香港、台湾、中国、イタリア、シンガポール、モロッコ等 15回）

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込
① 直接事業費	2,347,473	250,000	0	500,000
② 人件費	1,680,000	1,600,000	1,500,000	1,500,000
③ 合計コスト ①+②	4,027,473	1,850,000	1,500,000	2,000,000
前年度比 (%)		45.9%	81.1%	133.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	4,027,473	1,850,000	1,500,000
④ 活動一単位当たりコスト	366,133.9	88,095.2	100,000.0	117,647.1
前年度比 (%)		24.1%	113.5%	117.6%
⑤ コストに関する増減理由 (H30年度実績、R元年度見込)	平成30年度は無料公衆無線LANの設置がなかったため事業費が減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	誘客宣伝事業・観光PRの回数			単位:	回
	指標説明	海外メディア対応、海外訪問団視察対応、海外での美濃市PR				
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	
	実績値	11	21	15	17	

(4) 成果指標	指標名	外国人観光客数			単位:	人	評価:	+
	指標説明	旧今井家住宅、あかりアート館への外国人観光客数						
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込			
	目標値	1,128	1,341	1,153	1,778			
	実績値	1,278	1,098	1,693				
達成度 (%)	113.3%	81.9%	146.8%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
海外メディアアテンド実施、インバウンド商談会への参加等により、訪日外国人の観光誘客・交流を実施しました。世界的に有名な台湾ランタンフェスティバルへあかりアート作品を100個展示しました。今後も誘客活動を継続するものの、東京・大阪から本市へ、また本市周遊のための交通アクセス（二次交通）をいかに確保するかが課題です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	平成31年4月
年間を通じての計画的な交流や観光PRを行い、友好関係にある都市との産業や歴史に関する相互理解を深め、民間レベルの交流を行います。旅行会社の他、レンタカー業者や旅館業者へのセールスコールを実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	高橋 保雄
外国人の誘客を進めていくためには、市単独では難しいこともあり、近隣市との連携を図りながら事業を進めます。また、外国人観光客のニーズの把握と観光協会が進める「おせっかい美濃」による観光ガイドの育成により、外国人観光客の受入れ態勢を確立します。スマートフォンの普及やSNSの人気を考慮し、ネット広告をさらに活用していきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)